

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和五年一月度 入賞句一覧

投句数 五百二十四句



持選

長野 美代子 選

初鴉光蹴りつつ大空へ

大垣市 坪井 克枝

お正月にぴつたりの御句ですね。これが鶴とかですともつと良かったとも思いますね。中七のフレーズが素敵です。皆言葉がお正月らしくて感心しました。

寒星やデッサン遣し学徒兵

滋賀県大津市 近江 堇花

心にぐつと来る御句です。第二次世界大戦の頃のことですね。私共が生きて来た時代です。胸が詰まる思いです。どんな思いで戦地へ行かれたかと心が痛みます。また、季語が一層深めます。頭が下がります。

小春日の猫が猫呼ぶ浄瑠璃寺

瑞穂市 谷 牛歩

また、この御句は楽しいですね。一瞬、えつどう呼ぶのかなと思いました。お寺が出てきたので昔話かなとも。聞いてみたいなと思いました。

秀逸

腕白の証の如草風

不破郡垂井町 北村 廣美

大歳のこぼるる燈火経の声

不破郡垂井町 兒玉 昌巳

落ちてなお凜としてをり白椿

大垣市 杉山 はるみ

碁敵にまた負けに行く冬帽子

大垣市 村田 通夫

ていねいに七草洗う赤い爪

恵那市 安江 優衣

托鉢の薄きわらじや霜の道

大垣市 早笈 千恵子

田よ畑よ天地返して春を待つ

大垣市 大角 信華

うちの味にきつとなるはず干し大根

神奈川県川崎市 佐藤 廣枝

厨事手慣れ湯豆腐湯気を立て

兵庫県西宮市 小西 寒心

オリオンが山に片足掛ける朝

大垣市 彩刀 樹人

入選

初あかり舫いの綱のきしむ音
 指先に紙のぬくもり日記買ふ
 寒い寒いで日がくれる一人かな
 霜除けの風車乱立お茶の里
 己が影土に睦みて歎始
 三日早や黒く光れと磨く靴
 注連とりて錆釘残る薬医門
 玄関に添ふる幸せ福寿草
 冬温き物の一つに婆の背（せな）
 穏やかな冬日抱きて辻地蔵
 まだ土の匂ふ大根もらひけり
 鋤焼や鼻唄ひびく夕厨
 吊り革を握る手袋彼女の手
 枯山にひつそり流る雲の影
 何処からか今日もおちくる落葉かな
 身に入むや病棟渡る杖の音
 恋すてふ友の鞆の毛糸玉
 落葉くべ炎を少し育てをり
 日を仰ぎ大あくびして大きくしゃみ
 風音の砂紋となりし冬の浜

選者吟

竹の一叢冴えざえと細き月

一般の部

大垣市 白井 秀子
 岐阜市 花川 和久
 大垣市 渡辺 尚門
 大垣市 宇佐美 昭子
 岐阜市 廣瀬 あや子
 大垣市 高田 雅章
 本巢市 小泉 裕子
 岐阜市 堀江 美州
 愛知県名古屋市 岩田 遊泉
 兵庫県加古川市 戸田 ミツヨ
 三重県四日市市 後藤 允孝
 愛知県尾張旭市 小野 薫
 養老郡養老町 松永 智志
 大阪府東大阪市 森 佳月
 兵庫県三田市 村山 光志
 兵庫県豊岡市 辻井 一路
 大垣市 すみのサクラ
 東京都足立区 木幡 忠文
 三重県鈴鹿市 よかわもりお
 神奈川県横浜市 龍野 ひろし

美代子

